

令和2年度 第1回学校運営協議会議事録

(司会：塚本教頭 記録：中谷)

期日：5月8日(金) 9:30～

場所：国田義務教育学校会議室

1 開会のことば (塚本教頭)

2 校長あいさつ (古橋校長)

3 会長及び副会長の選出 (齋田教頭)

会長	山中 芳博	副会長	石川 敦史
----	-------	-----	-------

- ・定数の確認(第8条の2)
- ・会議参加者名簿(敬称略)

氏名	役職	氏名	役職
小田倉 康家	国田地区自治実践会会長	後藤 裕美恵	国田地区主任児童委員
石川 敦史	国田義務教育学校PTA会長	永田 博	茨城大学教職大学院
戸崎 力	国田義務教育学校PTA副会長	古橋 賢治	国田義務教育学校校長
山中 芳博	未来塾水戸代表	塚本 繁雄	国田義務教育学校教頭
折笠 慶子	国田地区民生委員・児童委員	齋田 由加里	国田義務教育学校教頭
菌部 博文	元国田地区青少年育成会会長	中谷 寿	国田義務教育学校教務主任

4 学校運営方針承認 (古橋校長)

(1) 目指す学校像：

- ①存在理念を大切にしながら「新しい画」を描ける学校
- ②設立の原点，地域の期待に応え，学校を存続させる義務

(2) 学校運営方針，今年度の重点

- ①国田教育の一層の充実を図る。
 - ・1～4年生の国語／生活を除く教科担任制の充実
 - ・異学年合同体育授業の完全実施(1・2年，3・4年，5・6年，7・8年)
 - ・6年生の教育課程の先取りの実施(3学期に中学1年生の学習)
 - ・児童生徒の「世界」を広げ，教育効果を上げる取り組みの研究(検討)・準備(実施)
 - ※拠点校部活動(令和3年度以降完全実施)
 - ※他県の義務教育学校との交流検討
 - ※海外の学校との交流検討

②児童生徒，保護者，地域の期待に応え，信頼を築く学校づくりを推進する。

- ・一人一人に居場所と活躍できる場があり，人権と安全に十分配慮がなされた学校，学級経営

③協働意識を高め，個に依存する組織から協働する組織への転換・充実を図る。

- ・グレード制，小グループ編制を全面に出した人材育成と教職員の親睦の充実

④危機管理意識の高い学校づくりを推進する。

- ・保護者対応の充実

⑤教職員の働き方改革を推進する。

- ・具体的な方針と実効性，継続性のある取り組みの設定と着実な実践

(3) 今年度の組織目標

児童生徒の「自己決定」「折り合い」「振り返り」の場を保障する。

5 協議

(1) 「運動会の実施」について

○今年度の運動会の実施は中止。(決定)

【話し合った主な中止の理由】

- ・ 学校が再開してからの準備時間の確保が難しい。また、1学期の宿泊を伴う行事や社会体験活動などの様々な行事が2学期以降に延期され、過密日程の中更なる実施日の確保が難しい。
- ・ 保護者の立場としては、学力向上が優先。苦汁の選択ではあるが中止はやむを得ない。
- ・ 学習や学力の遅れを取り戻すことが最優先である。まずは先生との関係づくり、学級づくりを大切にしてほしい。夏休みの縮小や土曜授業等も考えられるが、そのことを優先に取り組んでほしい。
- ・ 運動会にも目的があり、中止の判断を簡単に出すことは難しいが、学業優先で考える。

【その他意見】

- ・ 市民体育祭に積極的な参加を促す。児童生徒会が中心となって話し合い、全校児童生徒が参加できるようにメッセージを発信したり、練習しなくても参加ができるような種目を検討実施したりする。(例：ジンギスカン、障害物競走など。) アイディアを実践会に提出する。
- ・ 授業時数確保が最優先ではあるが、市民運動会への自由参加があってもいい。ただ、水戸市内34地区の中で市民体育祭の中止が決定している地域もある。6月の会議で国田地区の市民運動会の開催の有無が決定する。

(2) 学校行事等について

(中谷)

○ 4月、5月の行事は延期または中止。今後も必ず実施できるかは不明。臨機応変に対応する必要が出る。

○ 小規模特認校学校説明会、見学会は9月と10月に実施する予定。7月はなし。

○ 実践会の行事について、国田夏祭りまで中止。

○ ホタル観察会中止。

○ 協働事業の田植えは実践会にて実施。

(3) 校歌について

○ 愛唱歌「さわやか国田の子」を国田義務教育学校の校歌に制定の方向で。(次回継続審議)

(4) その他

○ 個別学習相談の実施についての提案：5月18日(月)～5月29日(金) (承認)

1時間に最大2人までとし、1日6コマ設定までとする。

【意見】

- ・ 家庭学習で子どもに勉強を教えることが難しい。子どもの集中力が続かない。学力の低下や学力の格差が心配などといった様々な意見がたくさん保護者から出ている。
- ・ 教育委員会に保護者から要望があるということで許可願いを取ってぜひ実施してほしい。
- ・ 学級担任(教科担当)とのコミュニケーションもとれるので、ぜひ実施してほしい。
- ・ 集団の中での生活が難しい児童生徒にとっても、人がたくさんいなければ登校できる可能性が出てくるのでは。など

6 その他

- ・ 学校運営協議会開催予定：7月14日(火) 予定

(齋田教頭)

7 閉会のことば

(塚本教頭)